



家賃では柱1本も自分のものにならないと
思っているあなたに、**今の家賃以下のローン**で自分の**家が持てる**かも知れないというお知らせです。

こんにちは。私はA-1 GROUPの代表をしている荒井一美と申します。

下記をチェックして1つでもある方々にはとても役に立つ情報を提案させていただきますので、是非お読み下さい。

今の自分ではとても家なんて持てないと思っている。
家賃プラス共益費等で5万円以上支払っている。
収納スペースがもっと欲しい。
2台以上の駐車スペースが欲しい。
子供のなき声で隣に迷惑をかけていると思っている。
豊かな人生を送りたい。

今のアパートで満足していますか？

戸建の住宅があったらなぁと思いますか？

でも今の自分の年収ではとても自分の家は持てないと思いませんか？

今の年収で、しかも今のアパートの家賃以下で家が持てるとしたら、どうですか？

思わない人はご迷惑でしょうから、ここで読むことを止めて頂けますようお願いいたします。

さて、読み進めた方は興味があるとお見受けしますので、いつの日か必ずお役に立つ考え方・情報をご説明させていただきます。

世の中は土地中心の考え方です。

一般の人は家を建てるのにはまず土地だと考えます。買う土地の残りが家かけられる予算だと思込んでいます。ここで、とても無理だとほとんどの人は考えこんでしまいストップしてしまいます。世の中は今でも土地優先の考え方が中心的です。

基本的に考えれば土地の面積は住むということに関しては直接的要因ではありません。考え方を換え、必要な住空間を確保した残りを土地代とすることと、住空間はそんなに広くなくても、あまり問題が無いと言う事実を認識することです。例えば、マンションやアパートで生活している人は収納と駐車スペースの点で、多少不満は残るでしょうが、うまく整理して便利に生活をしていると思います。ところが、いざ戸建住宅を建てるとなると、必要以上の広さの虜になってしまいます。

何年も使われないもの、ひょっとしたら一生使わないかもしれない物、例えば引越したときに荷解きされないうまの物等、身の回りにはたくさんいらぬ物があるような気がしてなりません。おまけにスペースが足りなくて、そのための物置を設けている家を結構目にするがあります。しかし、気が付かず、これらの使われない物のために住宅ローンを支払っているとしたらこんな悲劇はありません。

洋服ダンスを見てください。何年も使わぬ洋服がどれくらいありますか。これからは着る事が無いと思える洋服が、結構ありませんか。これらを整理したら半分の大きさでも足りていたかもしれません。

実はこれと同じ状態が住宅で起きていました。これは永い間の住宅業界主導型の住宅建設方式によるものだと私は考えます。そこには主人公である住人が存在していませんでした。

苦しめれば苦しめるほど優秀な営業マン！

住宅メーカーや工務店のほとんどは私たちが実際に家を建てるとすると、打合せの過程で必要以上の設備や大きな家を勧めます。結局、無理するレベルまで建設費用をアップさせてしまい、結果的には住む人の事をあまり考えてくれないようなことが多くなっています。

このような営業マンは企業の中では優秀だと評価されます。

住宅は本来住む人のためにある。

住宅は本来、風雨や外敵から住む人を守る為にあったはずです。が、いつの間にか主人公である住む人を現代技術が生んだシックハウス症候群や重く永い住宅ローンで苦しめるようになってしまいました。

さらに多くの住宅メーカーや工務店は住宅を夢のものとして、本当に住宅を必要とする人のことを考えず、手の届きにくい物にしてしまいました。手が届く人には、ぎりぎりまでの借入れをさせるようにして、それからつらく重いローンが延々と続く、苦しい現実をあまり話すことはしていないような気がします。

多くの人を苦しめれば苦しめるほど、優秀な営業マンだとする企業の姿勢に私は憤りを感じます。まるで、戦争中の多くを殺した人が英雄になると言う構図となんら変わりがないからです。

アットホームを求めた結果、ローンを支払う為に友人や仲間との付き合いや好きなことをあきらめ、我慢の人生を送るようになってしまいます。収入がアップしないことさえある今の世の中で、住宅を取得することは自殺行為に等しいかも知れません。しかし、私たちは住むところを確保しなければなりません。賃貸の場合、家賃が払えなくなったらすぐに追い出されてしまいます。

目指すもの！

今は亡き、私の人生の師匠は経済的に苦しむ人をひとりでも多く救いたいと実践されて、多くの実績を残された人でした。私はこの師匠の意思を継ぎ、私の関わる建設業界でこの使命を果たすことと決意して、微力ながら実践してきました。

それは住宅で苦しむ人を一人でも少なくしたいということです。

そこで私は考えました。アパートやマンションの家賃として住むために絶対に支払わなければならない金額で家を持つことが可能にするにはどうしたら良いかと・・・。

それはそんなに難しいことはありませんでした。

たとえば、地域によっては土地付き住宅で1000万円以下で年収220万円の人から無理なく、土地つき住宅を取得する可能性があることを発見することが出来ました。

現在は住宅ローンの金利は低くて住宅を取得するにはとてもいい時期です。フラット35という固定金利方式で借り入れすれば、金利の変動による返済額が増えることなく安心できます。月々3万9千円でローンの返済が出来て、いずれは自分の資産になるとすれば、自分が住宅を取得することが可能かどうか、知ることにはチャレンジしてみない手はありません。

このチャレンジが、豊かな人生の一つの入り口となるように思います。

そこで、提案させていただきます。

是非、私どもにこの可能性へのチャレンジのお手伝いをさせて下さい。私どもが借り入れの手続きやその他面倒なことのお手伝いをさせていただきます。仕事を休むことも無く、可能性を探ることが出来るはずですので、このチャンスを是非活かして下さい。

勿論、住民票や源泉徴収表や収入証明書等の関係書類をご用意いただく以外は、結果を出せなかった場合は一切費用をいただくことはしません。

まずはご遠慮なく、ご相談ください。リスクの無い話はうますぎると思うかもしれませんが、私の使命と決めていますので、ご提案させていただきます。

電話をすることが豊かな人生を送る為のキーポイントになるかも知れません。

今すぐ、フリーダイヤル 0120-890-321 (無料)にお電話を！

または

<http://www.a-1group.net> をご覧頂くか、ご来社の上ご確認下さい。

平成19年11月吉日

〒311-3505 茨城県行方市浜370-1
TEL 0299-55-0321 FAX 0299-55-0351
心と体の健康住宅協会 A-1 GROUP
代表 荒井 一美